

(十二月十七日) 「えのくま日記」六十一号

平成二十八年十一月 ~ 平成二十八年十二月

「お餅つき」

末田 祥子 (年長ほし組担任) 日記

思っていた程の寒さはなく、お餅つきをすることができました。たくさんのボランティアのお父さん方やお母さん方のご協力をいただき、賑やかな雰囲気の中でとても楽しくスムーズなお餅つきとなりました。

「よしよ、よしよ」の掛け声に、子どもたちは自然と肩を組み、一体感を感じることができました。年長さんは、実際に餅つき体験もできました。お餅が伸びる様子などにも喜び、美味しそうに食べていました。綱引き大会では、お父さんや先生チームに勝った喜びをジャンプして表現していて、とても可愛らしく思いました。

(十二月十五日)



「年長さんのデイキャンプ」

園長日記

紅葉のベストシーズンに、年長さんのデイキャンプを実施することができました。色んな体験をして楽しい思い出をたくさん作ることができました。子どもたちとのエピソードを列記します。

☆行きに金太郎バスに乗車しました。祥子先生が子どもたちに「まっかな秋」をリクエストすると、みんなで大きな声で合唱してくれました。子どもたちが楽しみにしていた「デイキャンプ」への思いを、バスの中でも実感しました。

☆「山荘四季」で出迎えてくれたのは、順子さんと人形の「さんちゃん」でした。順子さんが腹話術で「さんちゃん」を操り、子どもたちの目と耳を釘づけにしました。優しい順子さんとは違い「さんちゃん」はかなり、やんちゃな男の子です。「よく来たな、遊具の吊り橋は気をつけるよ。落っこちろよ」 子どもたちは大笑いでした。

☆紅葉を眺めながらの豚汁とお釜で炊いたご飯のおにぎりの味は格別でした。年少さんたちのサツマイモも具材に入っており、多くの子がお代わりをしました。これまでお代わりをしたことがないR君のお代わりは、先生達の話題となりました。

☆四月の大地震の影響で、「山荘四季」のトイレの水の出が悪くなったとのことで、男の子は外の指定された場所で済ますようにとお願いされました。いわゆる「立ちション、連れション」です。私達の子どもの頃は、男の子は当たり前のことでしたが、最近では、余り見かけなくなりました。紅葉の樹木の下で、十数名の男の子たちが、秋を満喫しながら並んで一斉の「立ちション、連れション」は痛快でした。

☆子どもたちの人気の遊びの中で、まったく予想していなかったのは、芝生の斜面を横に歩いてゴロゴロ回りながら下りて行く遊びでした。子どもたちが自分達で見つけて楽しんでいました。
(十一月十二日)

「ちよんまげブーム」

工藤 真紀(延長預かり保育担当) 延長保育日誌より

今日もみんな元気に帰ってきた。午睡では、年少、年中のほとんどの子が、ぐっすりとお眠っていた。

午睡後、女の子の髪の毛を結ぶが、「ちよんまげブーム」がおきている。男の子も何人か結んだり・・・おやつ後は、園庭に出て遊んだ。年中の元ゆき組さんは、みんな仲が良く、いつも一緒に遊んでいる。砂場遊びで着替えが必要な子が何人かいた。
(十一月十七日)

☆預かりの先生達は、子どもたちが預かりの教室に来ると「お帰り〜」と言って笑顔で迎え入れます。(園長)

「見破られた不審者」

園長日記

十一月の安全教室は「防犯教室」で、不審者に対する注意や避難方法について子どもたちを指導するものでした。

今回の不審者役には桃太郎バスの大平先生が抜擢されました。前日のリハーサルでの打ち合わせで、見破られないよう、帽子、サンングラス、マスクを付けて子どもたちが集まっている園庭に登場すると、一瞬にして「おおひら先生だ！」の声が飛び交い、笑顔の子どもたちに、多少は怖がるかなと思っていた当の不審者も取り押さえ役の加島先生も園長も、拍子抜けとなりました。見破られながらも、子どもたちのために不審者役を熱演してくれた大平先生ありがとうございます。次回の節分の鬼役は見破られないよう頑張ってください。(十一月十七日)

「チューリップ」

園長日記



「防犯教室」が終わった小春日和の園庭に、年中さんたちがクラス毎に輪になって座りました。園帽子の青、ピンク、緑、紫の色で、園庭にキレイな四つの花輪ができたようでした。

えのくまファームから、土がいっぱい入っている鉢(子どもたちの名前が書かれています)を子どもたちが両手に抱えて園庭に運びました。年長さんは難なく運べた鉢ですが、年中さんには、少し重かったようで、取り落とさないよう注意して運んでいましたが門を入り、園庭の目的地に到着する寸前で鉢を落としたり子が数名いました。それでも、両手でこぼした土をすくい上げ、半泣き状態でしたが自分で搬入することができました。指で穴を掘り、担任の先生から渡された「チューリップ」の球根を大切に植えていきました。今回、年中さんは鉢運び、球根植えをほとんどサポートなしで行いました。

(十一月十七日)

「幼稚園実習を終えて」

櫻井 萌 (麻生医療福祉学校こども未来学科二年) 日記

今回の実習では、年長ほし組で設定保育をさせて頂きました。「勤労感謝の日」に向けた製作ということで、お父さんやお母さんへの飛び出すメッセージカード作りをしました。

私が予想していた以上に、子どもたちは製作が上手く、少し難しい工程ができるか心配していたのですが、そこも友だち同士で助け合いながら作る姿が見れました。製作が苦手だという子も、活動が終わると「楽しかった。明日の朝、続きを作るね。」と言ってもらえて、とても嬉しかったです。六月から二段階実習をさせて頂きました。他の園では経験することのないような園行事や会議にもたくさん参加させて頂けて、私自身とても貴重な経験でした。これからも日々の勉学に励みます。六月、十一月と合わせると二十日間、本当にありがとうございました。

(十一月十八日)

「泣き虫 萌さん」



園長日記

実習生の櫻井 萌さんは、えのくま幼稚園の十五年前の卒園生です。本人の話では随分と泣き虫だったとのこと。その「泣き虫 萌さん」が十一月七日から十二日間、母園で本実習に取り組みました。

実習期間中は、年中さんの「みかん狩り」、年長さんの「デイキャンプ」にも加わり、子どもたちと楽しく触れ合いました。園長とは、子どもたちの「玉ネギ苗」を買い求めるため、早朝、ホームワイドの行列の中に一緒に並びました。

年長ほし組さんでのとても盛り上がった設定保育が終わると、三十二名のクラスの子どもたち一人ひとりに、心を込めた手書きの「メッセージカード」が渡されました。受け取る際に「泣き虫 萌先生」の涙を見た子どもたちから「感動」の言葉が出ました。(十一月十八日)

「年中さんの一週間」

小野 智美 (年中にじ組担任) 週案日誌より

☆十一月十四日(月)「元気集会」

雨が降ったため、予定していたチューリップの球根植えは出来なかったが、元気集会を通して、子どもたちの成長した姿を見ることが出来た。特にF君の話を聞く姿や待ち方は、とても良く、その事を伝えると、とても嬉しそうにしている姿が見られた。今後子どもの良いところを伸ばせるよう、子どもの成長に気付き伝えていきたいと思う。

☆十一月十五日(火)「体育教室」

体育教室は、縄跳びをした。子どもが上手く跳べるようにするための声掛けが難しく、「大きく回して」と言うと、子どもたちの何人かが手を大きく広げてしまい、逆に上手く跳べなくなってしまう。大人と子どもでは言葉の受け止め方が違う事に改めて気付いた。☆十一月十六日(水)「みかんの木を作ろう」

みかんの木は、実際に触れていたという経験もあり、一人ひとりが良くイメージ出来ていると感じた。しかし、ダンボールにテープで貼るという想定でおこなったところ、上手く貼り付かなかった。製作の素材をもっと理解し、子どもの立場になって活動のイメージを膨らませる必要があった。

☆十一月十七日(木)「安全教室 防犯」

安全教室の参加時は、いつもの集会のように楽しんでおり、不審者への危機感を感じていない様子だった。教室に帰って、安全教室の振り返りを子どもたちと一緒にした。すると、教室の中が静まり返る瞬間があった。子どもたちの表情を見ると、少し怖がっている様子も感じられた。その後、そんな時はどうしたら良いか、一緒に考えていった。

☆十一月十八日(金)「体を動かして遊ぼう」
久し振りのクラス対抗の運動遊びに行く前から「負けない！」と気合を入れている子どもたちの姿があった。グラウンドに移動する時も、いつも以上に張り切って整列したり、待つ姿があった。そんな姿にクラスの団結力や仲間意識が育っているのだと感じた。

☆十一月十九日(土)「自由登園日」

登園児が七人と少なかったが、その分、一人ひとりと沢山話をしていった。特にMちゃん、普段あまり甘えて来ないが、今日は「先生、抱っこして」と甘えてくる姿もあり、ゆっくりと関わっていった。どんぐりや新聞紙で遊んだ事が、とっても楽しかったように特別な自由登園日となった。



「初めての誕生会」

藤原 春香 (年少はな組保護者) 日記

楽しみにしていた誕生会に参加しました。娘はとても恥ずかしがり屋で、人前に立つ事が出来るだろうか、泣くかなあと私自身も緊張していました。

ステージに立つ姿に、私はウルツと感激してしまいました。娘は緊張しつつもお友達に手を振ったり、笑ったりして少し安心しました。しかし、いざ順番が来ると、うまくしゃべれず、先生と一緒に夢を言っていました。夢は「幼稚園の先生」、香里先生に憧れているようです。ステージから降りて来る娘の顔は、なぜか満足そうでした。初めての誕生会、娘なりにうまくいったようです。これからも娘の成長を感じながら次の誕生会を楽しみにしたいと思います。

(十一月二十四日)

「将来の夢は、お姫様」

衛藤 麻衣 (年中にじ組保護者) 日記

担任の先生から抱っこしてもらえなお誕生日会を、とても楽しみにしていた娘。長女の時は、大勢の人の前で「大きくなったら」を言えるのか心配しながら保護者席から見守っていた私も、五回目になる今回は、次女が何になりたいと言うのか楽しみにお誕生日会の朝を迎えました。

当日の朝、「何になりたいって言うか決まってる？」と聞くと「まだ決めてない」と言うので、娘が何になりたいと言うのか、少しドキドキしながら保護者席に座っていると、娘がにこにこしながら登場。「大きくなったら」の歌の後、少し考えてから恥ずかしそうに「お姫様になりたい」と答えました。憧れのソフィア姫になれるといいね。(十一月二十四日)

「日本一の女性剣士」



園長日記

十一月の誕生会に、剣道の防具を身に付け竹刀を持って颯爽と女性剣士が登場しました。学園の職員で、えのくま幼稚園の子どもたちのサポートに毎日のように来てくれる三苦 牙(みとま さえる)先生です。

「良い子の皆が色々な事に挑戦、チャレンジして欲しいけど、今日のお誕生会には、一生懸命チャレンジして、高校生の時と大学生の時に三度も日本一になった人が来てくれたよ、誰だか分かるかな」と伝えると、子どもたちも参加された保護者や教職員からも、驚きの声が上がりました。防具の面をはずし「さえる先生」が子どもたちに語りかけました。「小学生の時から二十年間、剣道に挑戦し、日本一にもなれました。みんなも色々な事に真剣にチャレンジして下さい。」子どもたちの心に響く、貴重なメッセージでした。(十一月二十四日)

「えのくま幼稚園祭りを終えて」 児玉 裕子（年長つき組保護者・バザー実行委員長） 日記

子ども達が待ちに待った、えのくま幼稚園まつりはお天気にとっても恵まれ、大盛況に終えることができました。

二学期が始まってすぐ、バザーの準備が始まり、この二か月、お母さん方が色々試行錯誤されながら進めて下さいました。どのお店も、お母さん方の思いが沢山詰まっております、改めてお母さんって凄い！と感動の連続でした。子ども達は、どの子も嬉しそうに顔をキラキラさせながら、おまつりを存分に楽しんでいました。子ども達の笑顔を見ることができ、本当に嬉しかったです。息子も私も、とても楽しい一日でした。お母さん方を始め、サポートして下さった先生方、本当にありがとうございました。
(十一月二十六日)

「ママおまつり楽しかった」

末次 亜紀（年少はな組保護者・ゲーム班担当） 日記

初めての「えのくま幼稚園まつり」でゲーム班のボーリングを担当させて頂きました。不安いっぱいなのか、準備が始まりました。担当のお母さんは七名です。みなさん忙しいなか何度も何度も集まって、子どもたちの為にと試行錯誤しながら準備をしました。

まつり当日になっても、ピンはちゃんと倒れるのか、楽しんでもらえるのか、とっても不安でした。いざ始めると不安は全部飛んでいき、たくさんの子どもたちの笑顔と「ありがとう」に、楽しく充実した時間を過ごすことができました。家に帰ると、当日、一緒に回れなかった子どもから「ママ、おまつりたのしかった。ママすごい。」とお褒めの言葉。疲れも飛んでいきました。ボーリング班の皆さん、お疲れさまでした。ご協力いただいた先生方ありがとうございました。
(十一月二十六日)

「えのくま幼稚園祭りを終えて」

藤原 春香（年少はな組保護者・物品バザー担当） 日記

九月から二ヶ月間、えのくま幼稚園まつりに向けて準備を進めてきました。私の担当は物品係でした。物品係は、園児の保護者の皆様からの品物を集め、ラッピングをし、値段をつけて、おまつり当日に販売をする係です。

準備は難しく、品物の値段はどの位につけたら良いか、来て頂いた方にお買い物をしやすくするにはどうしたら良いか、係りの皆さんで何度も話し合いました。今年は、創立七十周年記念という事で「七十円コーナー」を作る事になりました。当日は、大盛況でたくさんの方に来て頂きました。大変な事もありましたが、すごく達成感もあり、準備を進めていく中で、普段は中々お話しする事が出来なかった係の皆さんと協力ができ、学生時代の文化祭の準備をしている様な気持ちで取り組むことが出来ました。無事に終える事が出来て良かったと思います。皆様のご協力ありがとうございました。
(十一月二十六日)



「ワニワニパニックがんばってね」河野 亜似子（年中にじ組保護者・ゲーム班担当） 日記

今年の幼稚園まつりで、私はゲームの担当をしました。ゲーム班十四名のお母さん方が二種類のゲームに分かれ、皆で話し合った結果、私の班は、初の「ワニワニパニック」に決まりました。私は班長に決まり、二か月という短い期間で皆をまとめ、準備をしていかねばという不安がありました。会長さんを始め、多くの方の励ましをいただき、当日までやって来れたと思います。

ゲーム装置の製作中は、目指すところは一緒に「子ども達が楽しんでくれたらいいな」の思いで、前だけ向いて協力して作りました。何度も集まり、段ボールを切ったり、紙を貼ったり、慣れない作業で大変でした。分担して進めていきましたが、一つひとつ出来上がっていくうちに、大変だなという気持ちが感動へと変わっていきました。

我が家では、息子達が「ワニワニパニックががんばってね！」と応援してくれていました。当日は、ワニを少し怖がったお子さんもいましたが、みんな一生懸命ワニを叩いてくれました。無事に終了し、帰ると疲れが出ましたが、充実感にあふれていました。一番嬉しかったのは、息子達が祖母とお店巡りをして、指輪を買っていらしく「ワニワニパニック（パニックのこと）がんばったね」と言って、指輪を私の指にはめてくれた事です。私は、いままで頑張ってきて良かったなと思いました。今回のバザーの準備は大変でしたが、皆で協力し、ひとつのものを作り上げていく素晴らしさを改めて感じました。皆様のご協力で、私はかけがいのない体験をする事ができました。ありがとうございます。 (十一月二十六日)

「幼稚園まつりを終えて」

河本 麻珠 (年中そら組保護者・バザー食品班担当) 日記

「ママ、頑張つてね。」バザー当日、熱で欠席する息子の涙目に見送られ、幼稚園へ向かいました。思えば二か月半前、食品グループ長になった時は「長」という役を極力避けて生きてきた私は不安でいっぱい。しかし始まってみると、グループの皆さんは優しく明るい人ばかり。「この大きさは、子どもは食べづらいね」「このトッピングは車が汚れるから止めよう」といったママ目線の意見や、準備に前向きに取り組む姿は、学ぶ事が多々ありました。会長始め役員さんの助言を得ながら、グループ九名で、メニュー決め・お店との交渉・買付・ポスター作り等を着々と進めていきました。

緊張の中で迎えたバザー当日、みんなの力を結集して無事に設営・搬入・販売が完了、あつという間の充実した一日でした。そして、幼稚園祭りは多くの力により実施されている事を楽しみ感じました。最後に・・・せいちゃん、来年は一緒に行こうね。とつても楽しいお祭りだよ！ (十一月二十六日)

「子ども達の笑顔」

中村 陽子 (年長なぎさ組保護者・バザー駄菓子班担当) 日記

三年間、バザー係をすることになりました。今年は、あの毎年大好評の駄菓子係になりました。係のみんなと手づくりおもちゃを相談したり、駄菓子を発注に行ったりと、少しずつ準備をしてきました。小さい子どもがいたり、仕事をしていたり忙しいお母さんばかりでしたが、子ども達に楽しんでほしい一心で、力を合わせて頑張りました。

当日は、開店前から列ができており、ドキドキしながら開店すると、いきなり店内は大混雑。無我夢中で対応しました。廊下まで大行列でしたが、お店を楽しみに並んでくれてワクワクキラキラした笑顔でお菓子やおもちゃを選ぶ子ども達を見たら頑張つて良かったと心から思えました。私にとって幼稚園最後のバザー、係りとして関わる事ができて、思い出深い行事になりました。 (十一月二十六日)

「楽しい思い出 爽やかな達成感」



園長日記

絶好の秋晴れのもと、「えのくま幼稚園まつり」が盛大に行われました。今年も父母の会役員、バザー実行委員の皆さんの、大変熱心な取り組みと参加された全ての方々のご協力で、園児を含めて約千名が参加した、とても楽しく充実した行事となりました。

「開会式」で年長さんの「ソーラン節」を食い入るように見ていた年中さんや年少さん、そして保護者の皆様の眼差しや和太鼓演奏・ダンス終了後の拍手は、とても温かく有り難かったです。お子様と一緒に回られたご感想はいかがでしたか。係のお母さん達が、何か月も前からアイデアを出し合い、「懸命」に準備されていました。子どもたちには、お世話になった方に心から「ありがとう」と言える子になろうよと伝えていましたが、果たして何人言えたかな。「えのくま幼稚園まつり」の中で、子どもたちも保護者の皆様も、教職員も共に楽しい思い出とともに、一生懸命に物事に取り組んだ後に残る、爽やかな達成感や感動を味わっていただけたなら嬉しいですよ。 (十一月二十六日)

「嬉しい涙」

梶間 菜摘（年長なぎさ組担任） 日記

なぎさ組はケアパートナー賀来さんを訪問しました。到着すると、おじいちゃんおばあちゃんから拍手で迎えて頂き、子どもたちも緊張気味ではありましたがとても嬉しそうでした。歌の発表でも、一曲歌い終わるたびに「上手だね」と拍手をもらい、とても暖かい雰囲気の中、交流を行うことができました。最後に、プレゼントとしておじいちゃんおばあちゃんと一緒に作った折り鶴を手渡すと、「ありがとう。嬉しいねえ」と涙を流すおばあちゃんの姿がありました。

喜ぶおじいちゃんおばあちゃんの顔を見て子どもたちの顔も自然と笑顔が溢れていました。幼稚園に戻り、子どもたちに「どうだった？」と尋ねると、「なんか超よるこんどったな!」、「次はなぎさ組行かんの?」と、短い交流でしたが、子どもたちにとっても貴重で楽しい時間となったようです。おじいちゃん、おばあちゃんこれからも元気でいてくださいね。

（十一月二十九日）

「チューリップ病院開院」

無資格の老医師日記

夏の「ひまわり病院」は、全ての鉢にヒマワリが開花した後、誰にも告げられることなくひっそりと閉院しました。ところがその後、大分市長さんから「花いっぱいコンクール優良賞」の表彰状と記念の楯を戴くことができました。二年連続の快挙です。

寒くなった晩秋に「チューリップ病院」が開院しました。子どもたちが植えた球根の鉢を毎朝、回診しています。急に寒くなったこともあってか、なかなか芽が出ず、やきもきしていましたが、今朝、年少はな組のK君の鉢に待望の発芽第一号を確認しました。小さいながらも鬼のツノのような緑の芽でした。早速、職員室のマイクを持って子どもたちに「良い子のみんな、チューリップさんに芽が出たよ、見つけてごらん」と伝えると、園庭の子どもたちが一斉に探し始めました。

（十一月二十九日）

「こうきくん!!」

波多野 幸子（副園長・教頭） 日記

十二月の安全教室は、火災を想定した避難訓練を行いました。この日は、大分市消防局南大分分署に消防自動車と、地震体験車の派遣をお願いし、二名の消防士さんに来て下さいました。実際に訓練の様子を見てもらい、子どもたちに講評もしていただきました。

園長先生に消防士のお一人は「えのくま」を卒園した方ですよと紹介され、すぐに「こうきくん!!」と、当時のお顔と重なりました。年齢をお聞きすると二十六歳。結婚もされ、今や二児のお父さんとのことでした。二十数年前になります、乗り降りしていたバス停の場所や、こうきくんのお母さん、兄弟たちのお顔も思い浮かびました。園庭を見渡しながら、「この辺に山がありましたよね。よくスクーターで滑り降りしました。凧あげもしたな。折り紙も教えてもらいました」と、こうきくんも次々と思いが溢れ、懐かしさで一杯の様子でした。四歳の頃と変わらぬ優しい目をしたこうきくんが、人命を守る立派な消防士さんになられたことを、心から嬉しく思いました。

（十二月一日）

「卒園生の消防士さん」



園長日記

十一月の安全教室は「火災想定避難訓練」でした。大型遊具の前に避難した後、グラウンドに来て頂いていた大分市消防局の消防士さんから消防車の説明をしてもらい、年長さんは地震体験車「じしんくん」にも乗車させてもらいました。

本日、来ていただいた消防士の岡本晃輝さん（二十六歳）は、とても優しい方で、子ども達の多くの質問に丁寧に答えてくれました。お聞きすると、二十年ほど前の本園の卒園生とのことでした。早速、そのことを幸子先生に伝えると、本人の事をよく覚えていて、とても懐かしく当時を振り返っていました。今では二児のお父さんになった岡本さんの幼稚園の思い出は、竹馬、たこあげや先生と一緒に折った折り紙とのことでした。岡本さんが先輩だと分かった子どもたちは、とても親しみを感じてお話を聞いていました。

（十二月一日）

入園してから一度も泣くことなく、元気に幼稚園に行く息子。そんな元気いっぱいの子が幼稚園に行きたがらない日があります。それは「避難訓練」がある日です。

避難訓練で鳴るサイレンがとても苦手らしく、特に教室に居る時に鳴るサイレンは怖いみたいで、しばらくは家で怖がっています。そんな怖がっている息子ですが、家に帰ってきたら「避難する時は、口を隠す、走ったらダメ・おしやべりもダメ」など先生が教えて下さったことを私に教えてくれ「ママ、避難訓練の時、したらダメなことなんやった？」と問題を出されることも・・・怖がりながらもちゃんと先生の話聞いています。ちよつと感動しました。元気に成長している息子を見ると、何事も無く大きくなっていくって欲しいと心から思います。

（十二月二日）



「青空とパパ先生」

早朝は少し肌寒さを感じましたが、十九名のパパ先生が園児の前に並んで自己紹介をしていただいた午前十時頃には澄み切った青空が広がり、ポカポカ天気となりました。園庭ではドッジボールや竹馬、園舎内では相撲・読み聞かせ・ふれあいゲームなどが行われ、参加した子ども達は、パパ先生との楽しいふれあい遊びを存分に楽しみました。今回は、直前に一斉メールでパパ先生の再募集をさせていただきましたが、お蔭様で多くのお父さん方のご参加をいただきました。パパ先生達、本当にありがとうございます。

参加いただいたパパ先生達の感想を紹介させていただきます。

（十二月三日）

☆鷹本 真也パパ先生（年少ひかり組保護者）

今年度二回目の「パパ先生」に参加させて頂きました。私自身が前の日に体調を壊して、正直少しきつかったのですが、ひかり組のクラスに行って息子の笑顔を見て、元気になりました。転がしドッジボールを初めてやりましたが、男の子も女の子も一緒にできる楽しいスポーツでした。あつという間の一時間でしたので、また次回も是非参加させて頂きたいと思えます。

☆村上 健治パパ先生（年少はな組保護者）

今回、初めてパパ先生に参加させて頂き、大変楽しい時間を過ごさせて頂きました。私は、読み聞かせとロンドン橋等のゲームに参加しましたが、子ども達の笑顔には大変癒されました。実は長女が幼稚園に通っていた頃「どうしてお父さんはパパ先生に来てくれないの？」と残念がられていた事もあり、今回の参加を決めたのですが、こんな事ならもう少し早く・・・と後悔しております。その長女は今回、園児たちの前に見事な竹馬の腕前を見せ、色んな意味で有意義な一日でした。

☆山口 慎介パパ先生（年少ゆき組保護者）

今年、パパ先生に今ひとつ勇気が出せず、希望を出せずじまいでした中、妻からの情報で即答で「出る！」でした。日頃「おおいたパパくらぶ」の活動に参加していることもあり、すごく楽しく大変勉強になりました。子ども達と接して思うのが、遊んであげてではなく、遊んでもらっている事と子ども達に色々教わっているなあということです。来年度は、絶対にパパ先生希望を出し、沢山の笑顔のキャッチボールをしたいです。娘にとつて自慢のパパを目指して楽しく育児参加していきます。

☆越智 淳平パパ先生（年少ゆき組保護者）

今回は相撲に参加しました。息子が朝「相撲やろう！」と言っていたので。前回（昨年度の二学期）も相撲だった記憶があります。今回は、先生方の配慮？もあり、無事に息子とも相撲がとれました。（昨年度は来てくれなかったの）最後の集会では、息子の友達（男のみ）に囲まれ、園での様子を垣間見ることができました。次回も是非参加したいと

思います。



☆佐藤 哲也パパ先生（年中そら組保護者）

今回やっと参加出来た「パパ先生」前日、息子に「明日パパ先生に参加するよ」と伝えると、ニヤリと嬉しそうにいました。快晴の下、キラキラした表情で、お父さん達と遊ぶ子ども達を見て、私も昔を思い出し懐かしかったです。「笑顔と笑顔のドッジボール」が出来ました。このような機会を頂き、ありがとうございます。そんな中、一番乗りで私の元へ来るだろうと思っていた息子は、一目散に相撲部屋へと走って行きました。（笑）

☆阿南 孝パパ先生（年中にじ組保護者）

今回、初めて参加させて頂きましたが、とても楽しかったです。子ども達の楽しそうな笑顔を見ると、参加して良かったと感じました。子ども達と実際に遊ぶ事が出来「パパ先生と遊ぼう」とてもいい行事だなと体感する事が出来ました。次回もぜひ、参加したいと思います。

☆井上 昌俊パパ先生（年中にじ組保護者）

今回、このような親子で楽しい時間を過ごす機会を設けてくださり、本当にありがとうございます。普段、あまり目にするのではない幼稚園という集団の中の我が子の姿を見ることができ、その成長を嬉しく感じています。また、お友達と話したり遊んだりできているのかな・・・と少し不安に思っていた部分も、子ども達の様子を見ている中で払拭されました。これも、ひとえに先生方の日頃からの教育に対する取組のお陰と深く感謝しております。

☆神屋 和孝パパ先生（年長つき組保護者）

五年振りにパパ先生になりました。前回は園児全員で玉入れをしましたが、今回は色々な遊びコーナーがあつて、どの学年の子ども達も自分から積極的に好きな所へ行って遊んでいました。私は、ドッジボール担当でしたが、皆ルールをきちんと守って遊んでいたのが穏やかな気持ちで、そして笑顔で見守り、楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございます。

☆渡邊 賢明パパ先生（年長なぎさ組保護者）

今回の「パパ先生と遊ぼう」では、「読み聞かせ」を担当させて頂きました。参加してくれた子ども達は、みな真剣に話を聞いてくれて、みんなのキラキラした目を見られて、やって良かったと思えました。パパ先生には、何度か参加させて頂いていますが、毎回、いろんな発見と、大きな喜びを頂きます。子ども達や先生方に感謝です。今後も続けて頂ければと思います。

☆羽根 和宏パパ先生（年長なぎさ組保護者）

二回目の参加をさせて頂いたとき、前回に続き楽しく子どもたちと遊ぶことが出来ました。園児たちの元気な姿を見ると、みんな幼稚園での生活が楽しいだろうなと伝わってきました。また機会があれば参加したいと思えます。

☆仲村 慎司パパ先生（年長なぎさ組保護者）

「パパ先生」には年少、年中、年長と参加してきました。去年に引き続き今年もドッジボール。年中の時は、ボールに当たっても「出たくない」などとルール無視（笑）。しかし今年はさすが年長さん。ボールに当たれば潔く外に出て、ボールを相手に当てて戻ってきました。ルールを守り楽しく遊べるようになった息子の姿に成長を感じました。息子は、今年で卒園です。幼稚園で学び育んだ事を小学校生活に生かし、更なる成長をして欲しいと思います。

☆前園 隆之パパ先生（年長ほし組保護者）

「パパ先生と遊ぼう」に参加させて頂いたとき、ありがとうございます。息子に来てほ

しいと言われ参加しましたが、参加してほんとに良かったです。ドッジボールをしました
が、皆上手で、ビックリしました。ボールの取り合いになっても、じゃんけんで公平に決
めて、しっかりと約束を守っているんだなあと感心しました。機会があれば、また参加し
たいと思います。

「パパ先生と遊ぼう」

高橋かおる（年中わかば組担任）日記

『パパ先生と遊ぼう』がありました。前日から、「私のパパが来る！」「ぼくのパパも来る！」
と嬉しそうに話す声も聞かれ、何をして遊べるのかワクワクしている様子でした。そんなや
りとりを聞いて、いつも土曜日お休みで「やったー」と喜んでいるお友だちからも、「明日パ
パ先生来るん？…いいなあ。」と、いつもとはちよつと違う言葉が聞かれました。

当日はお天気にも恵まれ、ドッジボールやおすもうなどいろいろな遊びのコーナーを楽し
むことができました。楽しいひとときを過ごし、お部屋に帰ってきた子どもたちは、「あー楽
しかった！」「パパ先生強かったけど、勝ったんで！」「まだ遊びたかったなあ。」「（パパ先生）
今度はいつ来る？」など、たくさんの感想が次々に出てきました。パパ先生たちと楽しい一
日を過ごすことができ、大満足の子どもたちでした！（パパ先生たちには本当に感謝です。）
（十二月三日）

「頼りになる月極さん」

工藤 真紀（延長預かり保育担当）延長保育日誌より

日割（預かり保育）の年少RちゃんとKちゃんを、同じひかり組の二人のMちゃんが手
つないで帰ってきた。日割のお友達を月極さんが手をつないで帰ってくる姿が毎日見られ、
頼りになる月極さん。

ほし組の部屋が使えなかったので、お弁当とおやつは「にこにこの部屋」で食べた。園庭
では、みんな元気で遊ぶ姿が見られた。ドッジボールでは、年長がとったボールを年中・年
少に譲ったりして優しい一面を見ることができ、とても嬉しかった。（十二月六日）

「年長さんからお金もらったよ」

園長日記



保護者面談の行われていた午後、園長室まで「おかあさん、おかあさん年長さんから
お金もらったよ」と、とても嬉しそうに可愛らしい女の子の声を聞かえてきました。

よほど、嬉しかったようで、何度も何度もお母さんに伝えていましたが、多分お母さん
は意味が分からないのではと思います、園長室を出てみると、そこには年少ひかり組の女の子と
お母さんがいました。女の子がお母さんに伝えたかった嬉しい思いを、少しでも園長よりお
話しました。

明日から始まる年長さんの「お部屋さんごっこ」に先駆けて、年長さん達が紙でこさえた
お金（二百円分）を年少さんや年中さんに配ってくれました。ブルーの百円硬貨（実際は紙）
には笑顔のお猿さんが描かれています。
（十二月六日）

「お部屋さんごっこ初日」

年長学年担任さんの週案日誌より（十二月七日）

☆年長つき組（庄 恵理奈）

朝からとても楽しみにしていた子どもたちは、衣装を着けると、さらに気持ちも高まっ
ていった。最初は緊張していたが、大きな声で呼びかける事もできていた。関わりを持つ
中で、年長さんらしい部分も見られ、改めて他学年との関わりを持つ機会は大切だなと感
じた。

☆年長なきさ組（梶間 菜摘）

開店一日目ということで、準備に時間がかかってしまった。お店が開店すると大きな声
で呼び込みをしたり、店員さんになりきる姿が見られた。まだ恥ずかしさもあり消極的な

様子も見られるが、頑張って作った物が売れたことが、とても嬉しかったようで、二日目に更に期待が高まっている。

☆年長ほし組(末田 祥子)

エプロンやベスト、リボン等、衣装をつけた。思っていた以上に時間がかかってしまったので、開店時間に追われて余裕がなくなってしまった。いざ始まると「いらっしやいませ〜！」と大きな声を出しており、レストランでは、一人のお客さんに対し、みんなで囲むように対応する姿があった。お客さんが来ると、緊張して固まっている子もいた。一日目のレストランは、お客さんが少なくN君が残念がっていた。

「お店屋さんごっこ 二日目」

年長学年担任さんの週案日誌より(十二月八日)

☆年長つき組(庄 恵理奈)

昨日の経験から、今日は緊張よりも楽しみの方が大きかったようだ。昨日に増して気合いが入り、大きな声で勧誘する姿が見られた。最後はただで品物をあげたりしたが、全て品物が完売し「やったー！」と達成感を感じる子どもたちの姿が、とても印象的であった。

☆年長なぎさ組(梶間 菜摘)

前日とは違う役割にしたり、子どもたちなりに工夫して準備をしていた。年少さんということもあり、接し方に戸惑う子もいたが、優しく手を引いたり、問い掛ける姿を見て、やっぱり年長だなと実感した。品物もほとんど完売となり、子どもたちの顔もすごく嬉しそうに充実したようだった。

☆年長ほし組(末田 祥子)

昨日の反省を踏まえ、どうしたら沢山お客さんが来てくれるか、品物を一つも残したくないから、おまけやサービスにするか等話をして始めた。私は、ホールや教室を行ったり来たりしていたが、教室に戻った時、おもちゃ屋さんの子どもたちが「先生、たくさん売れて、あと二個だけ！」と興奮気味に教えてくれた。子どもたちは大満足でお店屋さんごっこを終えることができた。

「泣かぬなら泣かせてみせようお引越し」

柳井 悦子(年少ひかり組保護者) 日記

引越しが決まり、二学期いっぱいのでえのくま幼稚園を退園することになりました。その事を担任の紀央先生に伝えたところ、涙を流して寂しがつてくれました。

その日、娘は家に帰ると「紀央先生泣いてたね！私が引越すのがさみしいって♪」と嬉しそうに、ずっとずっと話していました。自分のために涙を流してくれたことが、くすぐったくもあり、嬉しくもあつたようです。それから数日後・園から帰った娘が「今日ね、紀央先生に『私がお引越しする事を覚えてる？』って聞いたんだく先生ちよつと忘れてるんじゃないかなあと思つてね♪」とニコニコしながら言ってきました。先生に、また寂しがつてもらいたかつたのでしよう。しかし、私は不安になりました。この調子だと終業式までに七・八回は同じことを言うな、いや我が娘のことだから、毎日言うな・日に三回は言うな、しつこいくらいに言うな・・・と。紀央先生、引越しまで、もうしばらくお付き合ひ下さい。きつと最終日、涙もカラカラだと思いますが、そつと目頭を押さえる仕草だけでも・・・。

(十二月九日)



「チャレンジカード」

庄 恵理奈(年長つき組担任) 日記

「先生まだチャレンジカード始まらんのか？」「もう少しで始まるけん待つてな！」このやりとりが一日に数回あるくらい、子どもたちはチャレンジカードを楽しみにうずうずしていました。

年少さんや年中さんのチャレンジカードを覗き、こつそりと練習している子もいました。そして、【チャレンジカードについてのお話し】の日。子どもたちは、担任の先生から渡された自分だけのチャレンジカードを嬉しそうに持って話を聞いていました。「おっ！今年はやる気がたくさん出ている子が多いぞ！」と感じました。年長さんのチャレンジカードは難易度が高いものもありますが、目標を自分の手で書き、たくさん挑戦して幼稚園最後のチャレン

ジカードをくしゃくしゃになるまで使い込んでほしいです。年長さんがんばれ！目指せなんでも名人！
(十二月十二日)

「お面作り」

武生 香里 (年少はな組担任) 日記

劇遊びに向けて、お面作りの活動を行いました。『もりのおふろ』の絵本を読んだ後、好きな動物を選んでいきました。

子どもたちに希望を聞いていくと、ぶた役になりたい子どもが一人しかいませんでした。「○○くん、一人だとぶたさんになるの寂しいかもねえ…どうしようか？」と問いかけると、少し沈黙が続いた後、数名の子どもから「ぶたさん、やってもいいよ！」「一緒にやる！」という声が上がってきました。以前であれば、自分の想いを通そうとする姿が強かったように思いますが、友だちとの仲が深まり、つながりができた今、友だちを思いやる優しい気持ちで育ってきたこと、とても嬉しく思いました。
(十二月十三日)

「お店屋さんごっこ」



松本 美香 (年中こどり組担任) 日記

先日、年長さんが準備してくれた『お店屋さんごっこ』に遊びに行きました。準備をしてくれていることを伝えると「どんなお店かな?」「おもちゃとかあるのかな?」と、とても楽しみにしていました。当日は、自分で作ったお財布にお金を入れて大事そうにする様子が見られ、色んなお店に行ってお買い物を楽しんでいました。

お店屋さんごっこに遊びに行つてから、自由遊びの中でハンバーガー屋さん・お寿司屋さんなどブロックや積み木を使つてのごっこ遊びをする姿が多く見られるようになりました。「いらっしやいませ〜」と大きな声でお客さん呼び、なりきつて楽しそうに遊ぶ姿を見て、年長さんになった時が楽しみになりました!
(十二月十四日)

「餅つき 母さん」

森山 博子 (年長つき組保護者) 日記

今回、初めてボランテアとして餅つきに参加させていただきました。当日は、白と杵を使い、園長先生やお父さん達が力強く餅をついていきました。徐々に柔らかくホッカホカのお餅がつき上がりました。

年少、年中さんには少し多いかなと思いましたが、みんなペロリとたいらげて、おかわりをする子もいて驚きました。年長さんは、あつという間に食べあげ、多い子で三回おかわりをしていて、とても頼もしく感じました。子どもたちが懸命に掛け声をかける姿、美味しそうにほうばる顔を見ることができ、疲れたけれどとても楽しくお手伝いできた餅つきでした。
(十二月十五日)

☆ボランテアの森山さんに原稿をお願いしました。タイトルはこちらで入れさせていた
だきました。

「餅つき 父さん」

仲村 慎司 (年長なぎさ組保護者) 日記



私は、息子の入園から三年間、餅つきボランテアに参加し、子どもたちの掛け声と元気な姿に笑顔とパワーをもらい、つき手、返し手に頑張りました。そんな子どもたちに囲まれて、張り切つて餅をついてしまうので、ついつい、つきたての餅を食べ過ぎてしまいました。綱引きでは、どの学年も思っていた以上に力が強く、見事に完敗！驚かされました。来春、娘がまたお世話になります。また三年間、餅つきボランテアに参加し頑張りたいと思います。
(十二月十五日)

☆ボランテアの仲村さんに原稿をお願いしました。タイトルはこちらで入れさせていた
だきました。

「ボランティアの皆様へ感謝」

園長日記

年末恒例の「えのくま幼稚園餅つき」は、今年はかなりピンチでした。子どもたちが楽しみにしている年末行事ですが、直前まで幾つかの課題がありました。

①メディアで餅つきでの食中毒の発生事例が報道されており、衛生管理の徹底が必要。

②「餅つき父さん」の申し込みが例年（七、八名）にくらべ三名とかなり少ない。

③天気予報で当日は曇り一時小雨、最悪の場合は、雨中の餅つきとなる。
等で結構悩みました。

しかし毎朝、園長室まで聞こえてくる子ども達の「もくちつき ペったんこ♪」の歌に、元気をもらいました。本日は曇り空ながら時折、晴れ間も見え、子ども達が楽しみにしていた餅つきを大歓声の中、実施できました。十一名の「餅つき父さん」は、協力的で遅い方でした。十四名の「餅つき母さん」は優しく手際よい方ばかりでした。お蔭様で、皆様方より戴いた六十kgを超える餅米を、子ども達と楽しくつくことができました。（十二月十五日）

「パパありがとう」

内藤 紀央（年少ひかり組担任） 日記

先日、みんなで楽しんで行えた餅つき大会。ひかり組からはボランティアのお母さん方だけでなく、お父さんも参加してくれました。Kちゃんは朝からパパが来てくれる事をお友だちに「Kのパパで！」と自慢気に話していました。パパが餅をついている時には、いつも以上の大きな声でみんなに混ざって「よいしょー！よいしょー！」と応援をしていました。

帰りのバスの中で「パパにお家ありがとうって言おうね」と、伝えると恥ずかしそうにしていたKちゃんでした。そんな話をしているとバス停に着き、待っていたのはパパ。私が「今日はありがとうございました。」と伝えると、パパのところへ駆け寄ったKちゃんが「パパありがとう！」と私以上の大きな声で気持ちを伝えていました。驚きましたが、Kちゃんの気持ちも伝わってきて、とても嬉しかったです。いつもたくさんのボランティアにご協力頂き、本当にありがとうございます。（十二月十五日）



「お店屋さんごっこ」

末田 祥子（年長ほし組担任） 日記

先日、2日間にわたり年中・年少さんをお客さんに招いてお店屋さんごっこをしました。いざ1人目のお客さんが来店！次のお客さんが来ていることに誰も気が付かないくらい、1人目のお客さんを全員で囲み対応していた子どもたちでした。レジ係りの子が何回もお金を数えては「思ったほどお客さんが来なかった」とため息をついていました。

1日目終了後、ほし組全員で話し合いの場を設け、どうやったらたくさんお客さんが来てくれるかを考えました。2日目、教室を飛び出しての呼び込みがすごく、廊下や階段に声が響き渡っていました。後半になるにつれ、全部品物を売ろうと必死な様子があり、サーブスがどんどん良くなってきました。終いには、品物を持って年少組の教室を訪ねるように…。「誰かもらってくれる人いませんか？」「先生！レジもあげたわー！」の言葉には大笑いしました。大満足でお店屋さんごっこを終えることができたほし組さんでした。（十二月十五日）

「みんなで一緒に『チャレンジカード』」

小川 真里奈（年少ゆき組担任） 日記

今年も終わりに近づき、寒い日が続いていますですが、寒い中でも体を思いつきり動かせるように『チャレンジカード』がスタートしました。鉄棒や縄跳びなど学年ごとに目標を立てて、取り組んでいます。初めのころは、「できない、寒いから嫌だ」と言う子どももいましたが、頑張っって挑戦している友だちの姿を見て、「私もやりたい！」と言う声が多く聞かれるようになりました。

失敗しても何度も挑戦して、シールやスタンプをもらえると、とても嬉しそうにしている

様子もあり、こちらも嬉しくなります。また、「あと、一回だよ！スタンプいっぱいですごいね」などと、友だちを認め合う様子も見られるようになってきています。お互いに励まし合いながら、挑戦していき、自信にもつなげていけるようにこれからも見守っていきたいと思います。
(十二月十六日)

「お兄ちゃん」
岩武 まどか(年中そら組担任) 日記
昨日プチドーナツクラブにサンタさんが現れました。サンタさんを見たそら組さんは「サンタさんだ！」「園長先生がサンタさんになってる！」とサンタさんの正体をすぐに当てていました。

そんな中、弟がプチドーナツに来ていた男の子は「園長先生ってわかったけど弟には内緒にしとくね」と言っていて、『ああ、お兄ちゃんになったんだなあ』と感じ、とても心が温まりました。年少さんの時から見ているので、その成長がとても嬉しいです。優しい弟思いのお兄ちゃんの、これからの成長が楽しみです。
(十二月十七日)



「お別れ」

内藤 紀央(年少ひかり組担任) 日記

ひかり組のお友だちが二学期いっぱい転園することになりました。Kちゃんは誰から見てもとても明るく、笑顔が素敵で元気なお友だちです。朝、お友だちが登園してくると「〇ちゃん、〇くん、おはよー！」と、元気いっばいの挨拶をしたり、これまではあまり表情を出すことができなかったお友だちとかかわるなかで、笑顔が見られるようになると、「先生！〇くんが笑った！」と自分だけでなく、お友だちの成長も一緒に喜べる子です。

そんなKちゃんが遠くに行ってしまうことをある朝の会でじっくりゆつくりと子どもたちに伝える時間を作りました。私の気持ちも伝わったのか、話が終わるとKちゃんが「寂しい」と涙を流し始めてしまいました。すると数人の女の子も涙を流し出してしまいました。涙を流す姿には驚きましたが、年少さんでもお友だちと会えなくなるという事は伝わり、寂しい気持ちも表現できるんだと改めて感じました。そして、それだけKちゃん存在がひかり組には大きなものだと感じました。Kちゃん、いつもみんなに元気と笑顔をありがとう。
(十二月十七日)

「お話し作り楽しいね」

小野 智美(年中じ組担任) 日記

十二月に入ってどんどん寒くなってきました。室内遊びを楽しむ子もいればチャレンジカードやドッチボールをする子もいて朝の自由登園を楽しんでいます。

室内遊びでは、十二支やサンタのパネルを使って劇遊びをする子もいて、思い思いの子どものらしい物語を作っている姿があります。先日は「年神様がお昼寝をしていると龍が落ちてきて猫に追いかけて〜」と面白い話をしているHくん。みんなで興味津々になって「え〜たいへん〜」と笑いあっている姿もありました。これからも室内遊びだけでなく外遊びも楽しみながら来年の発表会も楽しんでほしいなと思います。
(十二月十七日)

「パパありがとう！」

平川 大介(年少はな組保護者) 日記

朝は白い息が出るほど寒く、冬らしい餅つき日和でした。息子は餅が大好物で、この日が来るのを楽しみにしていました。

私自身、餅つきの経験は無く、軽い気持ちで参加しましたが、思っていた以上に杵が重く、足、腰、腕の全力を全て使っていました。普段からの運動不足が響き、もう限界か・・と感じた瞬間も子ども達からの「よいしょー、よいしょー」の大きなかけ声からパワーを貰う事ができ、無事に餅をつきあげる事ができました。子ども達の美味しそうに餅を食べる笑顔と帰宅後、息子からの「パパありがとう！」の言葉に、本当に温かい時間を過ごすことが出来たと、達成感で胸がいっぱいになりました。
(十二月十七日)

☆「餅つき」ボランティアの平川さんに原稿をお願いしました。タイトルはこちらで入れさせていただきます。